平成３０年１０月7日

「長府東部地区まちづくり協議会　運営委員会」（第６回）議事録（要旨）

長府東部地区まちづくり協議会
会　長　友松　弘幸

日時　　：平成３０年９月２５日（火）　19：00（午後７時）～２０：００
会場　　：長府東公民館　2F　第１研修室
出席役員：役員１７名中　１５名＋白木＋百田（敬称略）
友松、岡田、村瀬、菅原、岡村、白澤、金子、森下、鬼頭、宇内、長田、小林、中野、佐藤、白木、竹下、地域サポ職員百田主査（牛島、北村、橋本）

次第

１　あいさつ

２　議題

（１）まち協自主防災組織活動報告・・・白木委員紹介と報告

（２）地域力アップ事業・・・小林副部会長
・9/2 認知症サポーター養成講座実施報告

（３）平成３０年度活動計画
◆つたえよう部会・・・鬼頭部会長
・企業フェスタ、文化祭（準備・バザー券等）
◆つくろう部会・・・宇内部会長
・9/30 名作映画劇場、10/18 交通安全教室、他活動計画
◆つなごう部会（年間活動計画）・・・北村部会長
・花と心のまちづくり、文化講演会、凧揚げ、Ｇゴルフ等実施計画

（４）その他
・10/12 下関市まちづくり第１回まちづくり研修会（岡田、鬼頭、黒川）
・下関市まちづくり　２９年度活動事例集作成の依頼・・提出 10/26 鬼頭
・11/4（日）１０時～１２時岩国市玖珂総合支所３０名　防災視察研修
東公民館　講堂　参加　会長、白木、岡田、岡村、鬼頭、竹下

３　次回（第７回）の開催について
日時：３０年１０月２３日（火）　１９：００（午後７時）～２０：３０
会場：長府東公民館　2F 第１研修室

◆　配布資料
・「長府東部地区まち協運営委員会」（第６回）次第　１ページ・・・事務局
・つたえよう部会　「長府東部地区文化祭」　１ページ・・・鬼頭部会長
「企業フェスタ・文化祭予定と景品」２ページ
・つくろう部会　「交通安全教室の開催について」　１ページ・・・宇内部会長
「みどり園買物バス」チラシ　１ページ

1　あいさつ・・・友松会長

・秋に入りまち協の大きい行事（交通安全教室、企業フェスタ、らくご、文化祭）が続く、役員の皆さんご苦労様です。

・まちづくり計画策定委員会では、次世代を担う若い人が今後のまちづくりを討議。

・白木さんは今回から出席。自主防災組織の班長として活動し、これからまち協の自主防災を担っていただくのでよろしくお願いします。

2　議事内容

（1）まち協自主防災組織活動報告・・・白木さん紹介と報告

白木さん挨拶・・・今日から参加します。さつきヶ丘にいます。

①9/11 下関防災士連絡会議（下関市在住の防災士有志の組織）

・ふるさと防災マップづくりを説明。今後、防災マップを生かして皆さんをどう無事に避難させるかが課題。特に要介護者をどう支援するか。市役所との協業。若い世代をどう取り込むかのハードルは高いが、白木の私見として小中学生に防災士の資格取得をさせたい。全国で一番若い防災士の誕生！となるが・・。参加者から学校コニュニティーの組織が活用できないかの提言があった。

②9/15 山口県第３回防災セミナー・・・参加者　白木、村瀬、佐藤、

・講師　香坂先生　避難所運営訓練（HAG）について２時間受講。

・熊本県益城町自治会長から、実際の対処事例を聴く。

※意見感想等

竹下：広島大学の調査では、広島の土砂災害時に避難勧告や避難指示が発令されて、実際に避難した人は、1,000 人に僅か３人。いかに避難させるか課題。

村瀬副会長：・北部九州の豪雨災害に遭った朝倉市は、2015 年に防災マップできていた。当時マップづくりに関与した人は被害に遭っていない。マップづくりに関わることが大切。

・和歌山県紀の川周辺自治会：市のハザードマップは紀の川本流のみ、自治会が支流まで含んだマップづくりに取り組んでいるのは非常に良い。（村瀬副会長）

・避難所運営訓練（HAG）で学んだことは、<u>避難所運営はだれがするか</u>？で、公民館館長や学校の校長ではなく、<u>まち協、自治連合会の役割である。</u>市役所の職員は、行政と避難所の連絡係である。

（2）地域力アップ事業・・・小林副部会長

①サポーター養成講座

・日時：９月２日（日）１０時～11 時３０分

・場所：長府東公民館　（参加者 105 名）

・30 分はテキストによる講習。30 分は「認知症と向き合う」映画。（好評）残り 15 分で地域の家族会、認知症カフェなど。映画の希望があれば連絡。

・31 年 3/10 認知症フェア計画中、小中学校にもプレゼンしたく準備中。当日の開催時間 10 時～13 時に変更する。（当初 10 時～15 時）

・12/5 コア（ブース）の代表者会議を開催予定。開催の準備を月１回実施。

※意見感想等

菅原副会長：認知症にやさしいまちづくり⇒障がい者や弱い立場の人、子供にやさしい⇒本来の目的は「みんなにやさしいまちづくり」である。

村瀬副会長：認知症の自己判断は、「におい」に鈍感になったら要注意！

友松会長：新聞報道でフランスは認知症治療薬の効き目がないので、保険認可外となる。認知症は薬では治らないので、国を挙げてみんなで支え合う政策を打ち出す。まち協は認知症になった人をどう支え合うかこれからの課題

小林副部会長：認知症になった人を施設に排除するのでなく、住み慣れた場所で暮らせるまちづくりが大切。そのために認知症に対する正しい理解が要る。

（３）平成３０年度活動計画

◆つたえよう部会・・・鬼頭部会長

①企業フェスタ　参加者計９名×2 日間＝延べ 18 名　弁当手配

10/20～21　昔の遊び５名×2 日間＝延べ 10 名　弁当手配

②文化祭　　担当者　７名×2 日間＝延べ 14 名

・11/10～11　　アンケート実施（内容は集計が簡単になるよう簡略化）

・11/9 準備、11/11　16 時～片付け

・まち協合唱団 11/9 発表（30 名程度まち協Ｔシャツ着用）

◆つくろう部会・・・宇内部会長

・9/30（日）「八重子のハミング」上映予定。午前中は認知症予防機能訓練。

・10/18（木）10 時～11 時 30 分　交通安全教室計画。100 人動員体制。

講師：東京海上日動火災上野様（女性）工藤様。長府警察署　中島交通課長

◆つなごう部会・・・長田副部会長

・資料前回提出。計画通り進める。

金子校長：花と心のまちづくりは生徒と地域の方で花を栽培し、高齢者お一人様に届ける事業を検討。以下の３点を教えて欲しい。

①80 歳お一人様世帯数、②花づくり指導者（個人・団体）③生徒と一緒に花を配布できる民生委員の紹介（福祉員含む）　　400 鉢程度か。

友松会長：市が花の苗を配布する。10 月申込？市報参考に。

岡田副会長：綱引き？10/14 の予定（長田）。秋は行事が多いので火消鯨は未定（白木委員）、10～11 月は行事が多い。防火クイズ、交通安全教室、企業フェスタ、らくご、文化祭など、自治会長は疲弊している。３月までの行事が重複しないよう早めに計画。来年度は全体の行事計画の見直しが必要。

（４）その他

①下関市まちづくり　第１回まちづくり研修会　10/12　岡田、鬼頭、黒川

②下関市まちづくり　29 年度活動事例集作成の依頼　提出 10/26　鬼頭

③11/4（日）10 時～12 時岩国市玖珂総合支所 30 名　防災視察研修

東公民館　講堂　防災マップづくり説明　参加者　会長、白木、村瀬、岡村、鬼頭、竹下、自主防災班メンバー。

④平成３０年２月１０日（日）　自主防災避難訓練を開催予定（白木委員）

・参加自治会：四王司町、新四王司町、さつきヶ丘、豊城、豊城東の 40～50名　各自治会から避難場所（第２保育園）まで徒歩で避難する。
・小中学生は親子セットで参加して欲しい。
・避難所では名簿作成の予行演習を行う。
・消防署で心肺蘇生法（AED）の講習会も予定。
・避難食を試食。
・雪でも訓練の予定。（大雪では要検討）

⑤百田主査：予算の情報は未だでないが、入手次第連絡する。

⑥友松会長：白木委員の資格役員名（自主防災グループ事務局長では？）
規約上は、部会と同列に「自主防災組織」としている。
次回までに考える。

⑦森下監査：百田主査に要望（市役所の職員採用は地元出身者にすべきと考えている。直ぐには無理と思うが市の採用条件に地元最優先として欲しい。）また、北九州から通勤者も多いが、災害時に即対応できない。

⑧岡田副会長：市のサポート職員に行事、活動のお目付け役になってもらい大いに提言していただきたい。

議事録作成
事務局長　竹下　明生

議事録署名人　　森下　博幸　　㊞

議事録署名人　　牛島　朗美　　㊞